

ファッション教育 2023



一般財団法人
日本ファッション教育振興協会

日本におけるファッション教育の知識・技術の向上を図るために創設された財団法人です。繊維ファッション・流通分野の人材育成のための「ファッションビジネス能力検定」、リテール・小売企業で販売を担当する人材を育成するための「ファッション販売能力検定」、ファッションビジネスの現場で必要とされる色彩スキルが身につく「ファッション色彩能力検定」、アパレル企業の生産部門における人材育成のための「パターンメイキング技術検定」などの検定試験と検定テキストの発行を行っています。また、全国の服飾系学校の学生を対象とする「ファッション画コンクール」、教育功労者の顕彰、産業界と協力して開催する講演会、研修会など、ファッション教育の確立と振興を目的に活動しています。

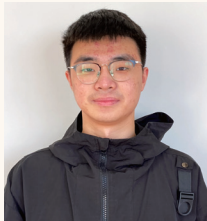
第38回 全国服飾学校 ファッション画コンクール

経済産業大臣賞



大臣賞決まる！

文部科学大臣賞



LIU Hou Lin
文化服装学院
服飾専攻科デザイン専攻

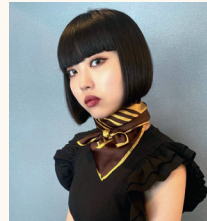
私は今回のファッション画コンクールに参加して経済産業大臣賞を受賞することができて、とてもうれしく興奮しました。

ここでまず日本ファッション教育振興協会に感謝します。また文化服装学院が私に自分を見せる機会をくれて、先生の私に対する配慮と支持に感謝して、学生の私に対する励ましに最大の感謝をします！

今回は私にとってとても忘れられないものになりました。私は絵を描く過程に多くの時間と精力を費やしました。これは勉強の過程

であり、収穫の過程であり、さらに楽しい過程でもありました。その過程で私はまたたくさん成長して、たくさん学びました。これからの日も同じように精神を持ち、たとえ私たちが良い成績を収めたとしても、奢ることなく精進して参ります。

未来の道はまだ長いです。私は自分の決心と根気を揺るぎなく歩み、ファッション事業のために全力を尽くして、これからの日に奇跡を起こします。



松本 心音
文化服装学院
服飾専門課程服装科

この度は文部科学大臣賞を頂き、誠に光栄に思います。

今回のファッション画では、自分のエネルギーをコンセプトとして表現しました。

昨年文化服装学院へ入学し、様々な人との出会いや新しい考え方を見つけ、自分の中で何かが動き出すような瞬間を感じ決して忘れることのない一年となりました。その思いから今回ファッション画を通し、自分のエネルギーとして表現させて頂きました。

より多くの方々の目に触れ、私の作品を見た人が自分なりに感じてもらえ、それだけの考え

方を持って頂けたら幸いです。

私が素直な気持ちで作品を描いたのは何よりこの一年支え導いて下さった文化服装学院の先生方、友人、家族のおかげであり感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、この素晴らしい賞を頂いた事を今後の制作の自信や力に変えて、人の心を動かせるような力のあるものを制作できるよう、そして沢山お世話になっている方々に恩返し出来るように日々精進して参ります。

この度は本当にありがとうございました。

ション画コンクール入選者発表



白井 帆乃花
香蘭ファッションデザイン
専門学校
ファッションデザイン科



専門課程

経済産業省商務・サービス審議官賞

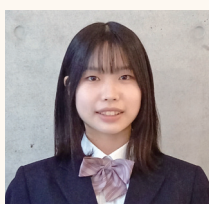


松本 咲良
宮城文化服装専門学校
ファッションデザイン科



専門課程

文部科学省総合教育政策局長賞



稲垣 葵衣
アン ファッション カレッジ
高等課程ファッション
総合科



高等課程



中嶋 夏希
アン ファッション カレッジ
高等課程ファッション
総合科



高等課程

佳作 (25名)

専門課程
佐藤 結乃
北海道文化服装専門学校
佐藤 まなか
宮城文化服装専門学校
長谷川 瑠依
宮城文化服装専門学校
阿部 梨沙
ファッション文化専門学校 ドレメ

高等課程
和泉 玲奈
東洋学園高等専修学校
奥 幸悠
東洋学園高等専修学校
村野 こだま
江東服飾高等専修学校

富山 聖
小井手ファッションビューティ専門学校
松本 美緒
大阪文化服装学院
藤岡 梨乃
上田安子服飾専門学校
横田 桜子
上田安子服飾専門学校

優秀賞 (15名)

専門課程
淡路 由宇吏
東京モード学園
川本 淳
東京モード学園
常川 遼太
東京モード学園
野元 嗣英
東京モード学園
池田 愛
名古屋モード学園
三枝 朋佳
名古屋モード学園

ごあいさつ



理事長
榎下町 慶子

この度濱田勝弘理事長の後任に指名され、当協会の理事長に就任いたしました。コロナ、円高など産業界への影響を受け急速に変化している中で、様々な分野の経験豊富な理事や評議員の先生方からご意見を賜りながら協会の果たすべき役割、ファッション教育の進むべき方向を考えていきたいと思っています。Withコロナとして、日常を取り戻そうという世界の動きは、まだまだ時間がかかるように実感していることと思います。この経験によって国や企業、また個人としてもあらゆる分野で再構築され、地球で起きていることに真摯に向かい合いSDGsの浸透も含め、責任ある行動が共通認識となりました。ファッション業界も大きく変容し、企業運営や生産現場での取り組み、流通のあり方にもDX、メタバースと可能性が広がっています。そして日本だけではなく、身近にグローバルに挑戦できる環境となりました。商品に現れる価値の根本は「人間の感性」にほかなりません。ファッションの教育の現場において一番大切な核として揺るがないものです。また専門知識や理論的な技術の習得は、世界に羽ばたく羽の役割を持ちます。その羽が大きく成長することで益々行動範囲が広がります。その強靱な羽を育成していく過程の中で、当協会の基幹となる4つの能力検定が重要な役割になると考えます。ファッション業界を常に念頭におき、時代に合わせて必要な内容の検定であることが理想です。ファッションビジネス、ファッション販売、ファッション色彩、パターンメイキングの分野において3級から1級までの理解習得を重ね、胸を張って業界に羽ばたいてほしいです。そして、協会はこれまで以上に産業界への「価値の訴求」に取り組んでまいります。加えて、研修事業やシンポジウム等の展開につきましても、文部科学省、経済産業省、業界、教育へ積極的に働きかけ繋がりを密にし、相互に研究課題を模索、共有しながら前を向き未来に向かって歩む道として整備、設定できるよう努めていきたいと存じます。また一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会の後援をいただき、支えていただきますことは大変大きな力になります。関係各社、会員皆様には日頃のご協力に、心から感謝し、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

第38回 全国服飾学校 ファッ

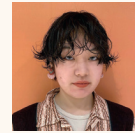
一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞



専門課程

松田 小町

名古屋モード学園
ファッションデザイン学科

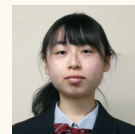


高等課程



中屋 七海

安城生活福祉高等専修学校
ファッション科



一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞



専門課程

半仁田 姫那

大村美容ファッション
専門学校
ファッションクリエイター科



高等課程



青砥 唯

デザインテクノロジー
専門学校
ファッション科



全国服飾学校協会会長賞



専門課程

MAI THI BICH NGOC

コロンビア・ファッション・カレッジ
専門課程研究科



高等課程



野口 美咲

東洋学園高等専修学校
ファッションビジネス科



坂牧 佳乃

織田ファッション専門学校

竹嶋 菜

専門学校二葉ファッションアカデミー

青木 武蔵

東京モード学園

保田 壮太

東京モード学園

湯浅 萌々香

東京モード学園

林田 梨峨

横浜ファッションデザイン専門学校

水嶋 菜々子

横浜ファッションデザイン専門学校

宮田 美月

ウイジネクス情報デザイン専門学校

伊藤 幸

名古屋モード学園

鬼頭 瑠衣

名古屋ファッション専門学校

岡本 愛華

大阪モード学園

玉城 愛華

上田女子服飾専門学校

齋藤 佳南

ヒロ・デザイン専門学校

岩崎 小侑

香蘭ファッションデザイン専門学校

花田 るり

香蘭ファッションデザイン専門学校

諏訪実香子

江東服飾高等専修学校

渥美 亮真

デザインテクノロジー専門学校

井澤 那央美

ウイジネクス情報デザイン専門学校

ハマサキ カミラ

アンファッションカレッジ

近藤 優月

安城生活福祉高等専修学校

鈴木 瑠菜

安城生活福祉高等専修学校

(敬称略・順不同)

全国服飾学校 ファッション画コンクールについて

次の時代を担う、感性豊かな
ファッションクリエイター
育成のために

日本のファッション産業を魅力と活力ある産業にするためには、なによりも産業を支える有為な人材、これからの産業を担っていく様々な人材の育成が必要ですが、とりわけ国際的な競争力を持つ、魅力的なファッション商品の発想・開発ができるデザイナーやクリエイターなど、高い専門能力を持ったスペシャリストが待望されています。

全国の服飾系学校の学生を対象とするこのコンクールは、こうした状況を勘案し、学生に目標を与え、ファッションにおける創造やデザイン能力向上を図るために、文部科学省・経済産業省、一般社団法人日本パレル・ファッション産業協会の後援を得て行っており、令和4年度で38回になります。

このコンクールへの応募基準は、専修学校の専門課程（高卒以上が入学）と高等課程（中卒以上が入学）の学生・生徒が、自ら発想・デザインしたもので、学内選考を経た未発表のオリジナル作品に限られます。応募点数は、都道府県官公庁に届出のファッション関連教育課程（各課程）の定員数を基準にし、100名未満を5点、100名以上250名未満を10点、250名以上500名未満を15点、500名以上1000名未満を20点、1000名以上を30点とし、今年度も多くの学校より優秀な作品が寄せられました。第一審査を経てテーマは「今私が着たい服」で、65校より528点の応募がありました。

文部科学大臣賞／
経済産業大臣賞ほか授与

「最も優れた作品で、感覚性の高いもの」に対し文部科学大臣賞、「最も優れた作品で、市場性の高いもの」に対して経済産業大臣賞が授与されます。これらに次ぐ優秀な作品には、文部科学省総合教育政策局長賞および経済産業省商務・サービス審議官賞が授与されます。そのほか、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞、一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞、全国服飾学校協会会長賞などが授与されます。

審査員 講評

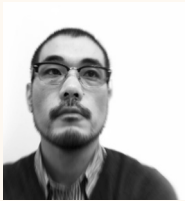
審査員の
講評動画が
公開中です！



〈審査員〉



株式会社ヒロコシノ
代表取締役副社長
デザイナー
小篠 ゆま 先生



Support surface Co.Ltd
代表取締役社長
デザイナー
研壁 宣男 先生



株式会社組織研新聞社
記者
河邑 陽子 先生

今回の「ファッション画コンクール」に出展された作品全体を通じて、昨年よりも技術的な高さや人物以外の背景描写までをしっかりと伝えられている作品が多かったような印象を持ちました。作者の伝える力（色使い、誇張するポイント）が明確に表現され、また細かな技術（流れるタッチや表現）や技法においても、近年のアニメやCG等多様なテクニックで描かれた作品が多く、そのなかで全体的には、「バランス感覚」に重点を置いた視点での選考を基準といたしました。また、人に伝えるために自分のイメージとして「どのような服なのか」、「第三者が見て、どのように理解されるのか」を、より具体的なものとして捉えた作品に重点を置いた部分もありました。

「文部科学大臣賞」を受賞された作品は、作者の「世界観」や「画力」に大変印象を受けた作品でありました。デザイン画技法としてもタッチが細かく、具体的に描かれた点や配色のバランス面において「どのような服」なのかがよく理解できるように表現されていました。またファッション画においてブルーの配色や黒を使った「締め方」の技法についても大変上手にまとめられた作品であり選ばせていただきました。

また、「経済産業大臣賞」を受賞された作品では、インパクトが大変強く、黒と金色の描写や流れをしっかりと表現されており、画全体から発する躍動感やエネルギーをシンプルにまとめて表現し、全体的なバランスに収めた点が大変素晴らしいと感じられました。そのためこの作品がどのような形で洗練され、市場に出ていくのかという期待感をもって選ばれた作品でもあります。



ファッション画最終審査風景

今回受賞されなかった作品の中にも、輝かしく見えるなかで大変惜しい作品も多く見受けられました。やはり、こだわりをしっかりと表現し、気を抜かない作品づくりが最終的な評価に繋がっていくことから、今後皆さんがプロとして成長していく過程には、このようなコンクール活動を継続的にを行い、地道に場数を踏み、経験値を積み上げていくことで、自らが表現したい「完成形」に近づけていけることとなりますので、これからの成長に期待していききたいと思います。



ファッション画コンクール集合写真。前列左から文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課専修学校教育振興室 専門官 望月香里さん、経済産業省 ファッション政策室 企画官 吉岡勇治さん、ファッションデザイナー 小篠ゆまさん、（一財）職業教育・キャリア教育財団 参与 菊田薫さん、（一財）日本ファッション教育振興協会 理事長 榎下町慶子さん
後列左から松本心音さん、松田小町さん、松本咲良さん、中嶋夏希さん、白井帆乃花さん、稲垣葵衣さん、野口美咲さん、LIU Hou Linさん

2022年度 服飾教育顕彰表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会／全国服飾学校協会 協力 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

日本ファッション教育振興協会は、ファッション教育の充実・向上・振興を図るために多くの方々にご協力をいただきながら様々な事業を推進していますが、その中で服飾学校教育の振興を通じて社会の進展に尽力した功績顕著な教育者を顕彰する制度があります。全国都道府県より候補者の推薦を受け、服飾教育顕彰選考委員会での審査の後、被受章者を決定し、毎年、服の日記念行事として顕彰式を開催しております。顕彰式では、長年にわたる服飾教育への貢献を称え、「服飾教育功労章」が授与されます。



左から3名顕彰者。(一財)職業教育・キャリア教育財団 参与 菊田薫さん、
(一財)日本ファッション教育振興協会 理事長 榎下町慶子さん



朝日 真先生
文化服装学院

この度は、服飾教育顕彰功労章を頂くことになり、大変光栄なことと思っております。ありがとうございます。ファッション教育に携わって早30年以上がたち、あらためてこんなに時が経ったのかと驚かされます。

小学校時代から歴史が好き。そして高校生時代からファッションが好き。それがうまく合わさって、西洋服装史、ファッション史と出会いました。しかし30年以上この学問と取り組んできましたが、まだまだ分かっていないことも多く、学生の質問に窮したりします。その時は、時間をもらってきちんと調べてから回答します。それが一番、自分にとって勉強になってきたと今でも感じます。いろいろな学生たちと出会いました。その中にはアパレルやその他の業界で活躍する卒業生がたくさんいます。そんな彼らの噂を聞くのが教師としてのやりがいです。これからも微力ながら、学生への授業の充実、そして後輩たちの育成に出来る限りのことをしていくつもりであります。



門井 緑先生
文化服装学院

このたびは服飾教育顕彰功労章を頂戴いたしましたことに際しまして、心より感謝申し上げます。今までご指導くださった先輩方をはじめ、同僚、後輩の先生方に恵まれ支えられてここまで来ることが出来ました。

私はパターンメイキング検定試験にも携わらせていただきました。他校の先生方と話し合いをしながら問題を作成したことは大変勉強になりましたし、楽しい思い出の一つです。また採点により年に1回、地方の先生方と交流するのも楽しかったです。長年、ファッションを志す学生たちと共に考えながら作品を作り、また、そのような学生が卒業して業界の一線で活躍する姿が私の誇りであり喜びでもあります。これから学生との出会いを大切に、そして少しでも学生の手助けが出来るように、日々努力していきたいと思っております。

このたびは本当にありがとうございます。



野原 美香先生
文化服装学院

このたびは、服飾教育顕彰功労章を頂戴致しましたことを誠に光栄に思っております。

今回の受賞にあたり、今まで私を支えてくださったすべての方々から心からお礼を申し上げます。

服飾教育に携わって30数年となりますが、服作り及びアパレル商品知識（アパレル商品論）について専門としてきました。

アパレル商品論では商品として服を取り扱う際に、服をお客様にどう伝えたいかということを中心において授業をしてまいりました。

私事ではありますがファッションの道に導いてくれたのは亡き父であります。老いてからもオシャレをすることで輝いていた父の姿は私の原点でした。

ファッションは自己表現といいますが、センス良く服を着こなすために服のデザインや仕立てや素材など良し悪しを知っていくことが必要です。

メンズ、レディース問わず服の魅力を学生に教えられるような授業をこれから展開できるよう自身も研鑽、努力をしていく所存です。



吉田 祥子先生
神戸ファッション専門学校

このたびは栄誉ある服飾教育功労章をいただきましたこと、誠に光栄に思っております。今回の受賞は、神戸ファッション専門学校理事長はじめ諸先生方のご指導と、私を支えて下さるすべての方々のおかげだと思い深く感謝しております。長年服飾教育に携わらせていただき、ありがとうございます。

私が服飾の仕事を目指すきっかけとなったのは、子供の頃にイギリスの音楽とファッションを知り影響を受けたことでした。

「同じ場所にいるためには力の限り走り続けなければならない」これはルイス・キャロル著「鏡の国のアリス」に登場する赤の女王の有名な台詞で、生物学では「赤の女王仮説」として進化に関する比喩として使われるそうですが、私は恩師から「まさにファッションの仕事に携わる全ての人に当てはまる言葉」と教えられ、以来この言葉を教育の目標とし仕事を続けてまいりました。これからも日々進化し続ける学生を側で見守りながら、彼らに負けないうちも私も全力で走り続けていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

アパレル産業に向けたDX人材の重要性と 未来に向けた取り組み

大阪文化服装学院

会長 森 慈郎

2020年1

月初旬、コロナ禍が始まる直前に、大阪文化服装学院（OIF）は中長期経営計画を取りまとめました。その中で「育成すべき人材像」を「国際感覚とデジタルスキルを兼ね備え、新しい価値を生み出せるクリエイティブな人材」と設定しました。



国際感覚醸成のため、20年以上前からイタリアの学校との提携等を進めてきました。それに加えて東南アジアを中心に他の海外校との連携を広げるという戦略でしたが、コロナ禍の影響でスピードダウンを余儀なくされました。

偶々のタイミングですが2019年11月にある人の紹介で、TFL社（東京ファッションテクノロジーラボ）と面談する機会を得ました。TFL社の技術は3DCADソフト「CLO」をベースとして、同社独自のノウハウ並びに他のソフトウェアを駆使して限りなくリアルに近い3DのCGを作成するもので、技術者養成のためにファッション専門学校との提携を模索しているということでした。

OIFにとっては、最重要目標の一つである「DX技術の導入」という話であり、その場で前向きに取り組むことを表明し、提携の条件等のすり合わせを始めることで合意しました。2021年4月から3年制のファッションクリエイター学科のなかに2・3年次に専攻できる「3Dモデリストコース」を新たに設立し、本年3月に初めての卒業生を輩出することになりました。幸いなことに、10名の同コース受講者のうち、4名が3Dモデリストとしての就職が決まり、まずは順調な滑り出しが出来たと感じています。

ファッション専門学校のクリエイターコースは大きく分けてデザイン専攻とパターン専攻の2つが主流となっていますが、近年、生産基地の海外移転が急速に進み、パターンナーとしての就職が極めて困難になっています。一方で、ファッション業界もデジタル化が進み、3D技術者のニーズは高まっており、人材が圧倒的に不足しているという現状があります。更に、3D技術者はファッション分野だけではなく、デジタルアート等他分野での需要も多く、学生の進路を大きく拡大させるものと期待しています。

国を挙げてDX推進が叫ばれる中、あらゆる産業においてIT技術を駆使した新たなビジネスモデルが構築され、ゲームエンジンの可能性が増大しつつあります。それはアパレル産業においても同様であり、企業の競争力維持・強化のために、DXを速やかに進めることが喫緊の課題となっています。

専門学校 青山ファッションカレッジ

校長 江口 崇裕



現在、アパレル業界におけるDXの注目すべき領域としては、「生産」と「販売」の分野が挙げられます。「生産」の領域に関しては、3D・CADの活用による生産工程

の変革で、現状では精度的な限界はあるものの、将来的にはアパレル生産の主流となることが予想されます。一方「販売」の領域においても、ECを活用したビジネスモデルが進化しており、リアル店舗との相乗効果を狙ったアプローチなど、アパレル企業各社がデジタルマーケティングを取り入れた新たな取り組みを始めています。そうした中、その変革に対応するための「ファッション×IT」の識見を兼ね備えたアパレル人材の育成が、業界発展に欠かせない重要課題であると考えられます。

青山ファッションカレッジでは2023年4月よりファッションテクニク科を新設し、販売領域におけるデジタルネイティブなファッション人材の育成をスタートする予定です。同学科では、ファッション知識とITスキルを身に付けることで、デジタルマーケティングを活用した集客、オンライン上でのファッションPR、リアル店舗を超えるカスタマーサービスの提供を行うことができる人材の育成を目指します。

カリキュラムは、ファッション知識、素材、カラー、ファッションコーディネートといったファッション系の科目と、IT基礎、WEB制作、WEB運営、デジタル広告、カスタマーリレーションなどのIT系科目のほか、カメラワーク、画像編集ワーク、コピーライティングなどECサイト上でファッションを表現するのに必要なPR系の科目にて構成されます。

アパレル企業でのファッションECサイトの制作・運営のみならず、個人でECブランド・ショップを展開することも可能な今の時代、DX人材の活躍の場は広がり、ますますその重要性は増していくものと思われれます。

「これからは自分を磨く時代」

検定では1級はビジネスマンや社会人に向け、2・3級はファッションを学ぶ学生を中心とする方のための検定試験という大まかな枠組みを持って実施しています。

プロとして

1級は業界の経験者、それも生半かなものではなく業界全体を広く理解しているかを試す試験であり、その難易度はビジネスに通じた専門知識となり、合格率は20%前後です。特に近年FB検定、FS検定へのビジネスマンの受験が増えています。プロとしての誇りだけでなく企業内の資格制度や研修成果などにも利用され、まとまった受験も増えています。この2検定は、やはり実務経験がモノを言うため学生には道は険しいのですが、大学で商学・経済を学んだ専門学校生も受けています。FBを教える教員には必須で、合格者も多くいます。一方PM検定は高度な技能はもろろん、スビードや丁寧で正確な仕事ぶり、クリエイション力など、確実性を求められる試験です。これもプロのパターンナーが中心ですが、今や3・4年の学生、しかも学校をあげての受験が急増しています。東京・大阪で2ヶ所別日程で行っています。

FC検定では、ファッション分野の諸業務の中で、色彩情報を客観的に収集・分析し、商品や店舗における色彩計画を立案する力を有します。また、ファッションに関する色彩の専門家として、その知識や理論を活用し、実践における色彩活用に対して適切なアドバイスができます。A、B（マークシート）、C（記述、実技）の3科目から構成されており、現役中堅の販売職の方やその他ファッション関連業種の方が受験され幅広いスキルアップに繋がっています。



協会だより



パターンメイキング技術検定 (略称PM検定)

当協会のPM検定は創設当初より文部省(当時)から厳しいチェックを受けながら高い技術とクリエイション力を取得しているかを確認する唯一の公式検定です。PM技術(実技)と筆記試験から成ります。

2、3級試験が同日実施ではなくそれぞれ年1回です。出願期間に注意ください。また、試験会場は2級が7都道府県、3級は全国26ヶ所のそれぞれ指定会場で行われます。詳細は2023年度(4月発行予定)の「受験案内」を参照してください。

ファッションビジネス能力検定 (略称FB検定)

①FB検定はここ数年社会人(アパレル系)、ビジネスマンの受験が増えています。すさまじい勢いで変わる業界にあって、やはりファッションビジネス知識を知っておくと、きちんと整理をして業界の全てを見渡せること、これらをしっかりと確認できるのがこの検定。もちろん学生の中から早く取っていれば、業界に出ても恐るに足らず。が



つちり1級目指して、一つ一つがんばっていきましょ。

②永らく使用されてきました『ファッションビジネス』のテキストが新版として、先ず2級が2019年12月に発行されました。また、3級の新版も完成し2022年

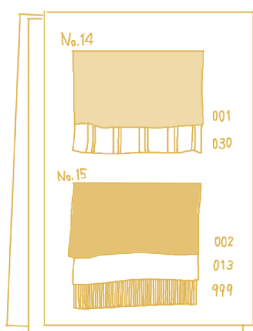
Ciao!



2月20日に発行されました。基本の内容はより丁寧な解説と、更に各項目で日々刷新されるファッションビジネスの動向を反映した内容となっています。検定受験の参考書としても大いに役立ててください。

ファッション販売能力検定 (略称FS検定)

①この検定の広がりぶりは特記に値するものです。3級でいえば、まずは短大・大学の生の参入が著しく増加しています。ファッション界への就職求人も販売分野は多く、また入社後も広く専門分野として要求されることも多く、エキスパート化していく要素もあるので、がっちり学習して資格を取っていこうと思われれます。また専門学校生においても異分野、例えば商業ビジネス分野や美容分野の専門学校から受験にトライされています。さらに高校生の受験生も増えています。アパレルの科を持った高校はもちろんですが、普通高校から、そして一般大学からとファッション業界へ就職される方やファッション大好きな方たちも参入しています。

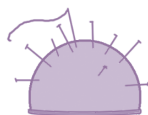


②2級の検定は、社会人、ビジネスマンをして何といってもファッション企業からの受験生が急増です。一般大学からの新入から2、3年を経たまだ経験の浅い社員や全国各店舗で働く店長及びそれに準じるクラスなどの受験が増えています。企業によっては内部の資格制度などに上手く活用されている企業も出て来ています。これは大変難関といわれる1級の検定とも連動して受験されています。

③一昨年4月に発行の『ファッション販売能力検定2級公式問題集』、昨年4月に『同3級』が発行されました。これは2018年に一新した『ファッション販売』2及び3のテキストに準拠するものです。ぜひ『同2』ともどもご利用ください。

④兼ねてより学と産が一体化した検定をと勤めてまいりましたが、真の販売プロフェッショナルを認め、さらに

高みを極めようとする『日本販売員プロフェッショナル協会』と手を結び、昨年第一回の検定が開催されました。販売のプロを認定するため、5年以上の現場実践と様々な試験を経て認定され、厳しい審査のある「真の販売プロ」を目指しています。そのうちの試験科目『知識』部門で当協会のFS検定2級以上を取得している方は科目免除となります。ぜひ今後有効にご利用ください。



ファッション色彩能力検定 (略称FC検定)

①一昨より、年度末の1月1回にまとめて行っています。テキストの評判もいいため、1年間の授業科目に採用している学校も多く、他の協会や会社が行っているカラー検定とは異なり「ファッションカラー」にすべて特化したものとなっています。FC検定は、FB検定、FS検定とも関係のある検定です。

②FC検定については2級と3級試験が午前と午後、別々に行われるので併願も可能です。

認定試験

検定試験ではありませんが、自分の実力がどのくらいあるのか、学校内で洋裁、和裁の理解度はどのくらいあるかの力量を推し量るための試験に「日本洋裁技能認定」と「日本和裁技能認定」の2つの試験があります。ともに日本の伝統に立った「洋裁」と「和裁」の技能の実力をみるもので、公式な検定ではなく各専門学校単位で申し込み実施されます。「PM検定」と「洋裁認定」とのはっきりした違いはPM検定は筆記に加えて重要な実技試験があるのが特徴です。一方、「洋裁認定」は筆記だけになります。「和裁」はかつて日本和裁教育協会が実施していたものを引き継ぎ実施しているものでこちらも筆記試験のみです。



協会出版物案内

書籍名	定価(税込)	本体価格	判型	頁数	ISBN
ファッションビジネス3級 新版	3,520	3,200	B5	242	978-4-931378-40-7
ファッションビジネス2級 新版	3,520	3,200	B5	276	978-4-931378-37-7
ファッションビジネス能力検定試験3級 項目別試験問題・解答集 改訂版	1,870	1,700	A5	264	978-4-931378-33-9
ファッションビジネス能力検定試験2級 項目別試験問題・解答集	1,870	1,700	A5	266	978-4-931378-10-0
ファッションビジネス能力検定試験 1級過去問題・標準解答集	2,200	2,000	B5	170	取次なし
ファッションビジネス用語辞典 改訂第3版	3,960	3,600	四六判	449	978-4-931378-34-6
パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック 改訂版	3,630	3,300	A4	285	978-4-931378-11-7
パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック	3,630	3,300	A4	248	978-4-931378-06-3
パターンメイキング技術検定試験3級 試験問題解答・解説集 改訂版	2,310	2,100	A4	148	978-4-931378-31-5
パターンメイキング技術検定試験2級 試験問題解答・解説集 改訂版	2,310	2,100	A4	164	978-4-931378-32-2
ファッション販売3	2,750	2,500	B5変型	214	978-4-931378-35-3
ファッション販売2	2,750	2,500	B5変型	194	978-4-931378-36-0
ファッション販売3 ―ファッション販売能力検定3級公式問題集	1,980	1,800	A5	248	978-4-931378-39-1
ファッション販売2 ―ファッション販売能力検定2級公式問題集	1,980	1,800	A5	248	978-4-931378-38-4
ファッション販売能力検定 1級過去問題・標準解答集	2,420	2,200	B5	142	取次なし
ファッション色彩〔Ⅰ〕	2,750	2,500	A5	190	978-4-931378-22-3
ファッション色彩〔Ⅱ〕	3,520	3,200	A5	284	978-4-931378-26-1
ファッション色彩能力検定試験3級問題集	1,430	1,300	A5	148	978-4-931378-23-0
ファッション色彩能力検定試験2級問題集	1,760	1,600	A5	166	978-4-931378-27-8
その他					
洋裁技術認定試験問題集	2,530	2,300	B5	170	取次なし
和裁技認定受験案内	1,320	1,200	B5	76	取次なし
和裁初級編	4,510	4,100	B5	284	取次なし
和裁中級編	3,410	3,100	B5	174	取次なし
和裁上級編	4,840	4,400	B5	302	取次なし
副読本 〈関西ファッションカレッジコンソーシアム発行〉					
ジャケットのパターンメイキング基本編 改訂版Ⅲ ―パターンメイキング技術検定1級副読本―	3,750	3,409	A4	149	取次なし



公式オンラインショップ
<https://fashionedu.base.shop>

全国の書店でもご注文承ります

但し、ISBNコードがあるもののみご注文いただけます。取次なしの書籍は、公式オンラインショップをご利用ください。

出版社名：一般財団法人日本ファッション教育振興協会

ファッション教育2023

令和5年3月20日発行

発行人 柳下町 慶子

発行所 一般財団法人日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-14-3 紫苑学生会館2階

TEL 03-6300-0263 FAX 03-6383-4018

<https://www.fashion-edu.jp>

(無断転載を禁じます)

